

プログラムの対象者設定

Aグループ：人数は10名程度。80代の女性が多い。認知症の方が多く、車いすの方もいる。

このプログラムで意識したことは？

※その他、運動療法・音楽療法以外で取り入れるものがあれば、こちらに記載してください

車椅子、認知症の方も皆様楽しめる。元気で明るく楽しく行なう。
季節感がある今の時期お祭りなど地域密着性を生かす。

NO	流れ 参考	流れ・内容・曲目	どんな配慮が必要ですか？どんな声かけをしますか？
1	挨拶・メニュー説明・注意点		わかりやすく簡単に相手が返事を返してくれる言葉かけ 車椅子の方は姿勢を整えておく
2	深呼吸～準備運動 (受動的音楽療法)	「われは海の子」 ゆっくりめに	無理のない範囲で行なって下さいと声掛けする (うでの上下、首の動きなど)
3	歌う (能動的音楽療法)	「お祭りマンボ」	今やっているお祭りのことを説明、お話しする 昔のお祭りなどの思い出・・・ゆっくりとすすめる
4	指先体操 (能動的音楽療法)	「村祭り」	わかりやすい説明をする
5	体操 (能動的音楽療法)	盆踊り「東京音頭」・「炭鉱節」など 地域の盆踊り	皆が知っている曲を選ぶ、座ったままでできる工夫
6	脳の活性化 (回想法)	北島三郎の“祭り(祭りの映像)”を流す	映像を見ながらの思い出・感想を聞く
7	口腔体操 (能動的音楽療法)	パタカラ お祭りバージョン	私のあとから同じようにして下さいと声掛けする、元気に明るく (掛け声)ドンドンパンパン→パパンパパ ソレ ドンドンパンパン→タタタタ ヨイショ ドンドンパンパン→カカカカ ソイヤ ドンドンパンパン→ララララ ワッショイ
8	クーリングダウン	ふるさと	一番は皆様と一緒に、二番は目を閉じて音楽を楽しんで頂く